

町史編さんだより

第33回 ～『ひげの宝』シリーズvol.21～

『互いに支え合う地域づくりを推進。 真住地区』

地域の特徴や活動、行事、祭り、昔話、自慢などを紹介します。



▲長年続く真住地区総出の運動会

真住地区は、昭和35年には人口699人（124世帯）でしたが、平成27年には195人

公民館を設置して コミュニティ活動

真住地区は、昭和35年には人口699人（124世帯）でしたが、平成27年には195人

（75世帯）と大幅に人口が減少。平成30年には高齢化率が66%に達しました。かつて、地域の中心に真住小学校が置かれ、終戦後には130人もの児童が学び、学校を中心に、地区のコミュニティが形成されてきました。運動会でも、児童と大人が一緒に盛りだくさんに開催されていました。しかし、児童数の減少から昭和49年に根雨小学校と統合し廃校。その後、校舎は「町青年の家」をへて、平成20年6月から真住公民館として活用されています。一時期途切れていたコミュニティ活動の拠点として、「地域で支え合う村づくり」を合言葉に公民館活動がスタートしました。

まず、地域住民の健康づくりの場として「ぽかぽか教室」を毎月1回開催。多い時には50人もの人が参加することも。現在は高齢化がさらに進み、参加者は減りましたが、住民同士の交流の場としても続けられています。また、一人暮らしの高齢者見守り活動、積雪時の除雪や緊急時の安否確認など、地域での支え合いの村づくりを進めています。ソバ同好会では、休耕田を活用し、ソバを栽培しています。長寿を祝う会や年末に手

真住地区は、根雨から国道180号を南へ、岡山県新見市に向かう山間に4kmわたり集落が点在し、県境に接しています。真住川を下流から濁谷、分かれて秋縄、三土、上流に門谷があり、4自治会からなる地域です。江戸時代には、眼角（まなすみ）と総称されていましたが、「眼の角」と連想され、良い印象を与えないということで明治の初期に「真住」と名称変更。明治22（1889）年に真住村が誕生しました。

明地峠を越え備中と交流

県境の明地峠（755m）は、その昔、後醍醐天皇が隠岐への配流の際にこの峠をお

通りになったという伝説も。ここは昔から備中へ通じる道で、真住一帯は備中との縁組も多く、聞き伝えによると、大山博労座の牛市に向かう牛馬の行列や荷車の往来が見られたといわれています。産業は、農業に山仕事、そして牛飼いで1戸に2頭以上が飼育され、県境まで牧場されていました。放牧地には、番小屋があちらこちに作られ、昭和30年代まで続きましたが、現在は牛の飼育農家は2戸とかつての姿は見られません。

濁谷地内の城山（353m）は、小松内膳の居城（濁谷城）と伝えられ、山腹には堀跡、五輪塔が点在し、常宿、的場番屋などの屋号が残っています。真住は百数十戸の

まず、地域住民の健康づくりの場として「ぽかぽか教室」を毎月1回開催。多い時には50人もの人が参加することも。現在は高齢化がさらに進み、参加者は減りましたが、住民同士の交流の場としても続けられています。また、一人暮らしの高齢者見守り活動、積雪時の除雪や緊急時の安否確認など、地域での支え合いの村づくりを進めています。ソバ同好会では、休耕田を活用し、ソバを栽培しています。長寿を祝う会や年末に手

打ちソバをふるまい喜ばれています。女性は、手芸グループをつくり、編み物などの作品づくりを通じて交流を深めています。真住地区民の最大のイベントは、以前から続いていた運動会と同時開催される長寿を祝う会と文化展です。毎年10月に、地区の老若男女が公民館に集い、楽しい一日を過ごしています。

明地峠に展望台を 手づくり

平成29年には、地区の活性化と観光振興を図ろうと、明地峠に、新展望台（標高621m）を整備しました。そこからは、大山を見渡すことができ、眼下には昭和52年に映画「八つ墓村」のロケ地にもなった奥渡地区も望める絶景地です。また、秋には紅葉の彩りと雲海を望む絶景を収めようと、全国からカメラマンや観光客が押し寄せています。

「真住は、住民同士のまとまりがあり住みやすい」「彼岸に昔から続いている祈祷・大般若を続けたい」「元気でいられたのも公民館活動のおかげ。愛の村づくりが長く続くことを祈っている」と地域への思いが語られました。（松本利秋Ⅱ政治・行政・教育小委員会）

読んでみたらんかな～

昨年行われた「第2回 発掘！図書館エピソード大賞」（鳥取県図書館協会主催）で、優秀賞に李聖美さん（根雨）の作品が優秀賞に選ばれました。今回の「読んでみたらんかな」では、李さんの作品を紹介します。



図書館エピソード大賞って？

実際に自分が体験した、図書館や書店、本にまつわる「ちょっといい話」を募集。「心温まる話」「うれしかったこと」「新しい気づきや発見」「出会った人・本」など。新たな図書館の魅力を発見しようというコンテスト



り よん み な み み や ん
李 瑛 さん・聖美 さん・美陽 ちゃん

日野病院に医師として勤める李 瑛さんとともに、昨年の春、日野町へ移住してきた大阪府出身の聖美さん。子どもも授かり、初めての土地で不安だった聖美さんの支えとなったのが日野町図書館でした。生後1か月くらいから読み聞かせを始めたという美陽ちゃんはいつもニコニコ。「親子で安心できる環境です」と「ひのぐらし」を楽しんでいる様子でした。

『新生活』

李 聖美さん / 図書館エピソード大賞 優秀賞受賞作品

私は今春、小さな田舎町に引っ越してきた。ここは、ショッピングモールが近いわけでも、おいしいお店がひしめき合っているわけでもない。都会育ちの私は、さまざまなギャップに戸惑いながらも新生活を開始。慣れないことも多いけれど、川のせせらぎを聞きながら四季折々の花々と対話しながら、赤ちゃんとも図書館に行って帰ってくる時間がひなたぼっこになり、気分転換にもなっている。

初産の私は、子育ても手探り状態。「こんな本が良いのかな」「あんな本が良いのかな」など思いながら本を手に取り読み聞かせる。赤ちゃんってこんなに単純なことで笑うんだ！青が赤になったり、丸が跳ねたり、そんな話に笑顔が咲く。ぶんぶん手や足を振って喜ぶこともあれば、声に出して笑うこともある。変わらない私の毎日に新鮮な気付きをくれている。

いつか引っ越して、この子が大人になって状況が変わっても、赤ちゃんとも私と図書館があった日々の思い出はこの町にそとに残り続ける。

教育委員会からのお知らせ

2月27日に教育委員会を開き、次の案件などについて協議されました。

・報告事項として、次のことが報告されました。

▼第2回日野町校区審議会について

・議事として、次のことが提案され、承認されました。

▼平成30年度日野町一般会計補正予算の提出について

▼平成31年度日野町一般会計予算の提出について

▼日野町就学援助費給付要綱の一部改正について

▼日野町立小・中学校管理規則の一部を改正する規

則について

・協議事項として、次のことについて協議されました。

▼平成31年度特別支援学級就学者について

《次回の予定》

日時：4月2日（火）午後1時30分

場所：役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。